

日本光学会平成 11 年度第 1 回常任幹事会議事録

日 時：平成 11(1999) 年 7 月 9 日(金)

13:30 ~ 17:00

場 所：機械振興会館 地下 3 階 S 号室

出席者：山口幹事長以下 14 名

議 事

1. 前回幹事会議事録に関する質問事項

第 157 回幹事会の議事録に関して質疑が行われ、議事録が承認された。

2. 報告事項

2-1. 編集委員会関連報告

(1) 「光学」編集委員会報告

- ・編集委員会で編集委員の任期の短縮について議論され、結論として任期は現状の 3 年のまが望ましいことが報告された。
- ・原著論文の投稿数は依然少なく、1~2 件/月で推移している。その対策案として査読方法の改善があげられた。たとえば、要点の指摘にとどめて査読期間を短縮するなど。
- ・依頼原稿の締切が守られていないので対策を検討中である。
- ・29 巻 4 号は「展望号」になっている。項目等の見直しや執筆方針の変更を検討する。
- ・カラーの画像や写真の掲載希望が増えてきたので、必要経費と実行計画について編集委員会からの提案を議論した。

(2) 光分科中分類の見直しについて

応用物理学会講演会企画運営委員梅田倫弘氏から、光分科の中分類の見直しについての提案と説明がなされた。

(3) 「OR」編集委員会報告

- ・No. 3 は「Near Field」の特集号であり、和歌山で開催された国際学会関連の論文が多く掲載されている。論文数は毎月号発行に向けてはまだ少ない状況である。
- ・投稿論文の動向は、会員外の投稿数が増え、企業からの投稿数も増加しつつある。
- ・ホームページのアドレスの変更を No. 4 でアナウンスする。

2-2. 講演会関連報告

(1) ICOSN '99 開催報告

- ・正式な報告書を現在作成中である。
- ・参加者は 190 名、そのうち 48 名が海外 (15 か国) から

の参加。講演内容は、招待講演 1 件、一般講演 133 件 (ポスター講演 53 件) であった。

- ・講演取り消しが 46 件 (口頭 23, ポスター 23) もあった。その大半が中国であった。対策案が議論された。

(2) 光学シンポジウム結果報告

- ・今回のシンポジウムは参加者 305 名と盛会であった。
- ・今回新たな試みとして、プロジェクターの使用とホームページによる広報活動の強化を行った。特に、ホームページによる広報活動は、情報の更新やカウンターによるアクセス状況の把握などにより、非常に強力なメディアとなった。
- ・企業展示の希望が多くなり、採択基準を作る必要が生じている。

(3) Optics Japan 進捗報告

- ・招待講演者に、光学会の外から Caesar Saloma (フィリピン大)、植田憲一 (電通大)、澤田嗣郎 (東大) の 3 氏が決定した。また、光学会からは、谷田貝豊彦、羽根一博、魚住純、中村収、金子寛彦、中川清の各氏の講演を予定している。
- ・9 つのシンポジウムテーマと一般テーマのそれぞれについて講演募集を行う。詳細は、「光学」第 28 巻第 7 号記載の募集要項に掲載する。
- ・各締切日は、講演の申込が 8 月 31 日、予稿集原稿受付が 9 月 30 日、事前参加申込が 10 月 23 日になっている。
- ・展示は 10 社を目標にしている。23 日は祝日であるので、業者が入り弁当等を販売する。
- ・会場は 25 日の午後まで使用できるので、現在 2~3 の研究グループが研究会を予定している。

(4) 第 32 回光学五学会関西支部連合講演会進捗報告

7 月 15 日開催に向けて準備がほぼ完了し、現在予稿集を印刷中である。

(5) サマーセミナー進捗報告

- ・すばる望遠鏡の講演者に山下泰正氏が決定した。
- ・次回実行委員会で、イブニングセッションの内容を検討する。

(6) 冬期講習会

- ・実行委員と講習会のテーマを決定した。
- ・会場として東大生研を予定し、参加費は昨年並みを考えている。開催日は 1 月 20 日 ~ 21 日を予定している。
- ・今回の講演会のテーマである「超高速光学」について議論がなされ、実行委員会で、具体的なイメージがわくテ

ーマ名をさらに検討することになった。

2-3. その他の報告事項

(1) ホームページ報告

- ・ホームページ掲載のためのルール作りと掲載までのルートの整理を行っている。
- ・応用物理学会の分科会用のサーバーが設置されるが、光学会は現状のまま学術情報センターのサーバーを使用し、リンクを張る程度にする。
- ・応物のサーバーを運用するにあたり、各分科会から担当者を選出することになり、小野寺幹事が指名された。
- ・「OR」ホームページについては、担当を引き続き沼田氏（OR 編集局）にお願いすることになった。

(2) 光学論文賞審査委員について

前回幹事会で幹事長に選任を一任されていた審査委員を次の各氏にお願いした。

山口一郎（理研）（委員長）、阿山みよし（宇都宮大）、久保田敏弘（京都工繊大）、笹木敬司（北大）、波田腰玄一（東芝）、藤居仁（九工大）。

(3) 協賛

3 研究会の協賛を承認した。

(4) 会員動静

7 月現在で A 会員 790 名、B 会員 1,209 名、特別会員 174 口である。

3. 審議事項

(1) 予算審議

来年度も本年並みの予算を想定している。応用物理学会から削減の要請が出ている剰余金の処置法について、日本光学会の今後の運営やあり方とも関連して議論された。

(2) 次期幹事選出方針

企業から選出されている幹事は、後任の候補を推薦していただきたい。ただし内諾は取らずにおき、幹事会で全体のバランスをみて、最終候補者を決定する。「光学」副編集委員長も幹事とすることが確認された。

(3) 名簿作成について

- ・名簿に掲載する個人データ以外の 22 項目（光学会規約等）についてデータ収集を終了。
- ・アンケート調査用の個人データは応物から提供を受ける。年内発送を目標とする。

次回の予定： 第 158 回幹事会 9 月 10 日（金）

13：30～17：30 応物会議室

Optics Japan '99

日本光学会の学術講演会である Optics Japan '99 が、1999 年 11 月 23 日（火）～ 25 日（木）の期間、大阪大学コンベンションセンターで開催されます。詳細については、本誌第 28 巻第 7 号の綴じ込み案内またはホームページ <http://www.photoinfo.ap.eng.osaka-u.ac.jp/~oj99/oj99.html> をご覧ください。

Optics Japan '99 講演申込者へ

OJ '99 の講演申込を行われた方で、「確認の返送メール」を受け取っていない申込者は、至急、プログラム申込係 (oj99subm@jubilo.ap.eng.osaka-u.ac.jp) までご連絡ください。当方の手違いにより、受付の期間中に受付コンピューターが停止または正常に動作していない期間がありました。皆さまにご迷惑をお掛けしたことをお詫び申し上げます。講演参加申込の事前手続きは 10 月 23 日までとなっています。参加費等が割引になりますので、お早めにご手続きをお済ませください。申込の方法は光学第 28 巻第 7 号をご参照ください。

カラーフォーラム Japan '99

光学四学会幹事会（日本写真学会、日本光学会（応用物理学会）、照明学会、日本色彩学会）が主催するカラーフォーラム Japan '99 が、1999 年 11 月 9 日（火）～ 11 日（木）の期間、工学院大学において開催されます。詳細については、本誌第 28 巻第 5 号の綴じ込み案内またはホームページ <http://vision.tp.chiba-u.ac.jp/colorforumj99/> をご覧ください。

光設計研究グループ第 2 回光設計賞

光設計研究グループ主催で「第 2 回光設計賞」を実施し、以下のとおり、光設計に関するすぐれた研究、技術、発明に賞を授与することになりました。

○光設計大賞

「反射型非軸対称ファインダ光学系の開発」

石原 淳氏（ミノルタ）

○光設計優秀賞

「バーコードリーダ用回折素子付レンズの設計」

朴 一武氏（松下電器）

○光設計奨励賞

「遺伝的アルゴリズムによる光学系の最適化」

小野 功氏（徳島大）、小林重信氏（東工大）、

吉田幸司氏（ニコン）

Optics Japan '99 の会場で表彰式を行う予定です。

第74回微小光学研究会

テーマ： 極限光学技術 —遠くを見る，極限に迫る—

日 時： 1999年12月3日(金) 10:00～17:05

場 所： 国立天文台三鷹キャンパス大セミナー室
(東京都三鷹市大沢2-21-1)

交 通： ① JR中央線武蔵境駅よりバス約15分『天文台前』下車，南口3番バス乗り場，小田急バス境91「狛江営業所」または「狛江駅」行き。

② 京王線 調布駅よりバス約15分『天文台前』下車，北口11番バス乗り場，小田急バス境91「武蔵境駅」行き，または北口12番バス乗り場，京王バス武91「武蔵小金井駅」行き。

国立天文台への交通案内はホームページ (<http://www.nao.ac.jp/Map/index-j.html>) でもご覧いただけます。

主 催： 応用物理学会日本光学会微小光学研究グループ
プログラム：

- 1) 重力波検出用レーザー干渉計 TAMA 300
藤本真克, TAMA 300 Collaboration (国立天文台)
- 2) 注入同期 Nd:YAG レーザーの広帯域周波数安定化
武者 満 (電通大)
- 3) Km スケール低温重力波望遠鏡計画における鏡の開発
黒田和明, LCGT Collaboration (東大)
- 4) [見学] レーザー干渉計 TAMA 300, すばる望遠鏡
関連展示
- 5) すばる望遠鏡と光学技術
家 正則 (国立天文台)
- 6) ライダーデータの定量化を目指して
竹内延夫 (千葉大)
- 7) 光衛星間通信実験衛星 OICETS 搭載光通信機器
小山善貞 (NEC)

他2件

参加費： 一般4,000円，学生1,000円 (資料代を含む)
当日ご持参ください。

参加申込： 不要 (直接会場にお越しください)

問合せ先： ソニー (株) CNC CT 開発本部
久保田研究室 岡 美智雄

電話 03-5448-5621 Fax 03-5448-3446

E-mail: oka@devo.crl.sony.co.jp

プログラムは，微小光学研究グループのホームページ (<http://www.din.or.jp/~microopt/>) でもご覧いただけます。

理研シンポジウム・計測自動制御学会センシングフォ
トニクス部会講演会「新しい光応用技術 XIV」

日 時： 11月5日(金) 10:00～17:00

場 所： 理化学研究所鈴木梅太郎記念ホール
(〒351-0198 和光市広沢2-1)

プログラム (予定)：

最新情報は理化学研究所光工学研究室のホームページ
<http://optsun.riken.go.jp/> をごらんください。

イントロダクトリートーク

山口一郎 (理研)

「超広帯域波長走査干渉計による表面形状計測」

山本明弘 (理研)

「波長走査型共焦点干渉顕微鏡による屈折率・厚さ分離
測定 —FM 復調器による高速化—」

深野 天 (理研)

「薄膜の厚さ分布の測定」

卿 徳奎 (理研)

「コヒーレンス断層映像法による生体解析」

丹野直弘 (山形大大学院)

「デジタルホログラフィーの結像特性」

水野 潤 (理研)

「超電導磁気浮上技術における光計測」

諸隈 肇 (オリンパス顧問)

「マイクロマシニングの光デバイスへの応用」

羽根一博 (東北大大学院)

「半導体レーザー干渉計における干渉縞ロック現象とその耐環境光計測への応用」

劉 紀元 (理研)

参加費： 無料

参加申込： 不要。シンポジウムのあと懇親会を行います
(有料)。

問合せ先： 理化学研究所光工学研究室 山本明弘

電話 048-467-9340 Fax 048-462-4653

E-mail: akihiro@postman.riken.go.jp

日本光学会 news の掲載申込み先：

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33 千葉大学工学部情報画像工学科 羽石秀昭

電話/Fax 043-290-3468 E-mail: haneishi@image.tp.chiba-u.ac.jp

なお、掲載申込みは原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1~10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

日本光学会平成11年度幹事(*常任幹事)

幹事長：	山口 一郎* (理研)	
副幹事長：	河田 聡 (大阪大)	
庶務幹事：	吉川 浩 (日本大)	佐藤 裕志* (コニカ)
	小野寺理文* (職業能力開発大)	石渡 裕* (オリンパス)
	羽石 秀昭* (千葉大)	米山 修二* (旭光学)
会計幹事：	栗木 一郎* (東京工業大)	埜田 友也* (ニコン)
『光学』編集幹事：	志村 努* (東京大)	大坪 順次 (静岡大)
	伊藤 雅英 (筑波大)	中川 清 (神戸大)
『OPTICAL REVIEW』編集幹事：	朝倉 利光* (北海学園大)	一岡 芳樹 (大阪大)
国際協力幹事：	佐藤 平八 (防衛大)	黒川 隆志 (東京農工大)
	芳野 俊彦 (群馬大)	松本 弘一 (計量研)
将来問題担当幹事：	久保田重夫 (ソニー)	岩田 耕一 (大阪府立大)
前幹事長：	横田 英嗣 (東海大)	
企画・事業担当幹事：	亀丸 俊一 (北見工業大)	羽根 一博 (東北大)
	北島 巖 (福井大)	佐々木修己 (新潟大)
	須原 浩之 (リコー)	坂田 肇 (キヤノン)
	松原 浩司 (電総研)	本宮 佳典 (東芝)
	石川 和枝 (上智大)	岡井 誠 (日立)
	天野 主税 (NTT)	伊藤 博 (トヨタ)
	北川 洋一 (兵庫工業試験所)	財部 健一 (岡山理科大)
	今井 洋 (九州工業大)	